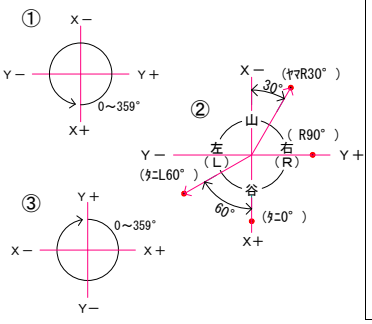
設置チェックシート（ばらまき型傾斜計 NetBC-30L&30S）

地　点		実施日	年　　月　　日	実施者		天候	

【データロガー】
型　　式　NetBC-30L
製 造 番 号 No.
ROMバージョン　　（　　）
製 造 年 月　　年　　月

センサ総数　　台

傾斜方向表現	
	①通常表示： X軸＋を基準　反時計回りで0～359°
①の時X軸＋の方向	②山谷表示： X軸＋を谷側向け　山・谷・右・左
	③左手系北基準： Y軸＋を北　Y軸＋基準 時計回りで0～359°



【メインメニュー】

ネットワークアドレス	#		
記録インターバル			
インターバル6時間以上の記録時刻			
電源	外　部	V	
	電　池	メイン V	サブ V
内部温度		℃	

【無線メニュー】

周波数	
時計確認	□
全センサ通信テスト	□　実施
センサ　ゼロリセット	□　実施

【観　測】
□ 半自動（機器単独）
□ 通信機接続
□ 無線機→通信器接続

周波数

0	923.9 MHz
1	924.3 MHz
2	924.7 MHz
3	925.1 MHz
4	925.5 MHz
5	925.9 MHz
6	926.3 MHz
7	926.7 MHz
8	927.1 MHz
9	927.5 MHz

センサ一覧

無線アドレス	計測点名	機器No.	SPU-33A No.	無線アドレス	計測点名	機器No.	SPU-33A No.
01				11			
02				12			
03				13			
04				14			
05				15			
06				16			
07				17			
08				18			
09				19			
10				20			

【警報設定】　警報無効センサアドレス：
（○…有効　×…無効）

警報4は累積変動のみ

	監視項目	警報値	ヒステリシス値	アラート 番号	アラート 宛先	経時時間	経時変動リセット（警報1～3　一括）
警　報　1					#		□
警　報　2					#		
警　報　3					#		
警　報　4					#		

⇐ 経時警報設定時のみ表示される

警報接点	
ON　時間	

【メンテナンスメニュー】

経路構築電波レベル	70	カルマンフィルタ		インターバル自動切替	

⇑ 極力変更しない事（詳しくは取扱説明書<操作編>P.30参照）

地 点 名：

開始時傾斜データ

記録開始時刻　　時　　分

SPU（ソーラー）を接続してもキャパシタが充電されるまでは電池で駆動する

センサ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
電波レベル										
X 角度										
Y 角度										
（合成）傾斜角度										
方向										
X 生値										
CT-1で確認 Y 生値										
電　源	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン
（CAP=ソーラー）	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
通信経路 ロガーで確認										

センサ	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
電波レベル										
X 角度										
Y 角度										
（合成）傾斜角度										
方向										
X 生値										
CT-1で確認 Y 生値										
電　源	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン	CAP/メイン
（CAP=ソーラー）	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
通信経路 ロガーで確認										